

「タイ短期派遣プログラム (OSP-F-2013-2 タイ・フィールド調査) 参加報告書」

京都大学大学院 経済学研究科 博士後期課程 平賀緑

この度、京都大学アジア研究教育ユニットによるタイ短期派遣プログラム (OSP-F-2013-2 タイ・フィールド調査) に参加することによって、めざましい変化を遂げつつあるタイへの確かな理解を深めることが出来ました。訪問先大学では、現地でも著名な教授陣たちにより in-depth な講義を拝聴することができ、ASEAN Studies の関係では日本からは見えにくい ASEAN の本質的な特徴について学ぶことが出来ました。また自分の研究分野として、近年めざましい変化を遂げているタイの農村や街中における食環境の現場を実体験することができたのは成果でした。世界的なアグリフードビジネスを訪問したり、チェンマイの山奥まで農民を訪ねたりできたのは、このプログラムに参加できたからこそと感謝しています。

大学の教室に限らず、現地学生に連れられて屋台で昼食を食べたり、歴史遺産を訪問する際もタイの歴史に詳しい教授と一緒に訪問したりできたことは、このプログラムならではの貴重な体験でした。

一つ心残りなのは、訪問先で参加学生と訪問先大学の学生とによるワークショップが開かれ、お互いの研究内容について知ることができましたが、人数が多くて時間が足りず、また分野も広すぎて、議論が少ししかできなかったことです。できれば関心分野によって2グループぐらいに分け、発表時間と議論・交流の時間を確保できたらと思います。

今回の派遣によりタイや ASEAN への理解を深めることが出来たのは貴重な成果として、今後アジアにおける食料政策を研究するなかで活かしてゆきたいと願っています。